



第204回 清陵勉強会



味覚受容体の変化とヒトを含む霊長類の進化

2024年10月22日(火) 19:00~20:30

*ハイブリッド開催

会場: TIME SHARING Biz 品川A【品川駅5分】

東京都港区高輪3-24-18 高輪エンパイヤビル地下1階

京都大学ヒト行動進化研究センター

講師: **今井 啓雄氏**(89回生)

演題 味覚受容体の変化とヒトを含む霊長類の進化

京都大学ヒト行動進化研究センターとは?

昭和42年(1967年)に全国の研究者が利用できる共同利用附置研究所として京都大学に霊長類研究所が設置されました。隣接する日本モンキーセンターとの連携のため、京都でなく愛知県犬山市にあります。同研究所の改編に伴い令和4(2022)年にヒト行動進化研究センターが設置され、約150名のヒトと、約1000頭のヒト以外の霊長類が仕事をしています。どんなところなのか、一端を紹介します。

ヒトとサルの関係について

ヒトとサルは数千万年前に共通の祖先から分岐した親類です。遺伝子レベルでは、95%以上の配列が似ています。そのため、ヒトを理解する上でサルの行動や脳機能、身体づくりなどが参考になります。私たちは、サルの行動に対する細胞や遺伝子などの影響を主に研究しています。

研究内容は?

私の研究室では、ヒトとは違って変な物を食べるサル類について味覚の遺伝子を調べる研究をしています。ヒトの祖先は数万年前にアフリカから世界各地に飛び出しましたが、それに伴う遺伝子の変化と食の関係なども紹介できればと考えています。当日は会場にて簡単な「味覚テスト」を実施します。自分の遺伝子の秘密がちょっとだけ垣間見れるかも?



今井 啓雄(いまいひろお)



略歴

1967年9月18日生
岡谷北部中学出身
京都大学卒業

大学院生と研究員・助手時代は京都の生物物理学の研究室で、色覚の光受容タンパク質の研究に従事。准教授から犬山で自分の研究室を持ったときに、味覚や嗅覚などの化学感覚の面白さに気づき、ヒトを含めた霊長類の化学感覚の解明にチャレンジ中。最近は舌や鼻だけでなく、腸などの消化管にもある味覚受容体の研究を展開している。

<第204回清陵勉強会 開催概要>

日時: 2024年10月22日(火) 19:00~20:30 (質疑応答を含む)*ハイブリッド開催

会場: TIME SHARING Biz 品川A【品川駅5分】

東京都港区高輪3-24-18 高輪エンパイヤビル地下1階

<https://www.google.com/maps/place/35%C2%B037'56.6%22N+139%C2%B044'16.6%22E/@35.6323983,139.735372,17z/data=!3m1!4b1!4m4!3m3!8m2!3d35.6323983!4d139.7379469?entry=ttu>

会費: 会場、ZOOM参加ともに 500円 (懇親会参加者は別途3,300円)
*リモート参加の学生は無料です

申込: ご出欠を10月16日(水)までに下記メールフォームにてお知らせください
ZOOM参加希望の方には前日までにリンクをお送りします

<https://forms.gle/w9k5Amvhuo4Ltrk59>

お問い合わせ

清陵勉強会事務局 seiryobenkyokai@gmail.com